学校だより

平成３０年8月27日

かわい

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawai/

横浜市立川井小学校

～学習の積み重ねを大事に～

校長　藤田　優

「溶けそう」。玄関から出たとたん、体にまとわりついてくる熱気にため息がでました。早朝からなので驚きです。今年の暑さは３０年に一度の異常気象だったそうですが、温暖化が進んでいる中、数年に一度はまた同じような天候になるのではないか。そんなことを思いました。７月の平均気温は東日本で平年より２．８度上がっているというニュースもありました。平均気温が１度上がると、赤道に近い地域で米、麦などの穀物がとれにくくなり、３度上がると、赤道からはなれた一部の地域でも穀物がとれにくくなると考えられています。世界的な食糧不足が心配され、続かないことを祈るばかりです。

「深い学び」へと

夏休み明けから音楽会に向けての練習が始まります。今年演奏する曲について、まずは自分のパート、楽器を演奏できるようにしなければなりません。どうやったら曲を覚えられるだろうかということですが、子どもによってその学び方は様々です。音楽が得意な子は楽譜を読んで、リズムもとらえていくでしょう。楽譜にドレミなどを一つひとつ書いていく子もいるでしょう。その後こつこつ一人で繰り返す子や、友だちと一緒に練習することで覚えていく子など、取り組み方もいろいろです。

一通り曲を覚えると、みんなできれいなハーモニーにするにはどうしたらいいだろうというめあてが現れてきます。音の強弱、タイミングの取り方などお互いの音を聴き合う学びとなっていくでしょう。音楽会という発表の場に向かって、学びを深めていってくれればと思います。

どの学習でも同様ですが、丁寧に一つの「どうしたらよいだろう」「何だろう」を解決すると、そこから新たな疑問や自分なりの課題が出てきます。繰り返し、どうやって解決していったらいいだろうと考え、取り組みます。そこから得られた新たな知識や、できるようになった技能は子どもたちに更なる思いをプレゼントしてくれます。「分かったことを伝えたい」「こんな風に変えていきたい」など、できるようになりたいことが深まってくるわけです。

まだまだ暑い日が続きそうですが、生活のリズムを整えて、夏休みの日頃の生活ではなかなかできない体験をステップに、さらに学校生活ならではの学びを積み重ねていっていきたいです。

2年　トウモロコシの皮むき体験

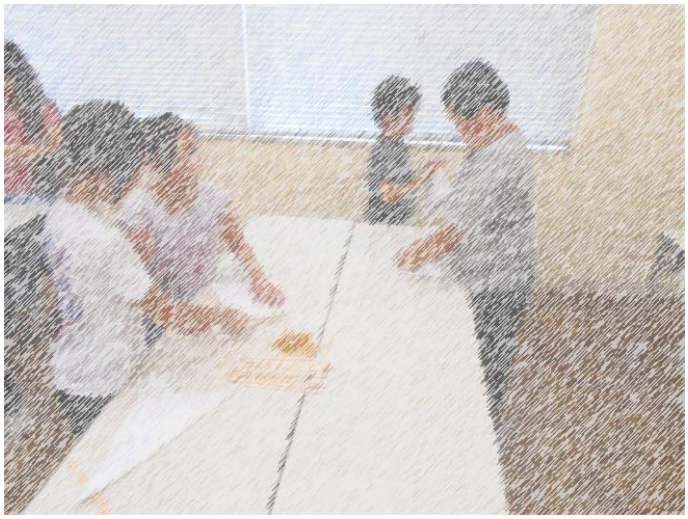
７月１１日（水）に川井地域で穫れたトウモロコシの皮むき体験をしました。１本１本、丁寧に皮をむきました。皮をむいたトウモロコシは、給食で全校に配られました。
「自分で皮をむいたトウモロコシはおいしい！」と、友達と話しながら味わっていました。

ぼくは、とうもろこしのかわをむきました。むくのがすごく大へんでした。でも、がんばったから、きゅうしょくのゆでとうもろこしがおいしかったです。

とうもろこしのかわは、つるつるしていて、とうもろこしの毛は、プチプチと切れていい音です。きゅうしょくに今日むいたとうもろこしが出ます。とうもろこしは、おいしくて甘かったです。またたべてみたいです。そう思っています。

4年　愛川宿泊体験学習

７月８日（日）～９日（月）に愛川宿泊体験学習に行きました。
初めての宿泊行事でしたが、天候にも恵まれ、充実した活動をすることができました。



僕が愛川体験学習でできるようになったことは、みんなと一緒に協力したことです。オリエンテーリングでは、行動班のみんなと楽しく協力ができました。部屋班のみんなと協力して、布団がひけました。学校の授業でもみんなと楽しく協力したいです。

私は藍染が楽しかったです。星の形の模様ができてうれしかったです。組みひも体験では、糸が編まれていく様子を見てびっくりしました。愛川で、みんなで協力して楽しいことがたくさんできました。
行く前は、愛川宿泊体験学習が不安で行くのが嫌だったけれど、行ってみたら楽しかったです。何事も、まずやってみることが大事だと分かりました。

6年　日光修学旅行

７月１８日（水）１９日（木）、日光修学旅行へ行きました。天気にも恵まれ、二日間を通して雨具を出すこともありませんでした。華厳の滝や戦場ヶ原のハイキングを通して日光の豊かな自然にふれたり、日光東照宮や二荒山神社などの江戸時代の歴史的文化遺産を間近に見たりしました。

私は日光修学旅行で印象に残っていることが二つあります。一つ目は、益子焼です。自分オリジナルの物を作っていく作業で、みんなちがうものをかいたり見せ合ったりしていました。二つ目は、戦場ヶ原ハイキングです。いっぱい歩いてすごくつかれるかと思ったけど、たくさんの友達と話したりゲームをしたりしながら歩いたので楽しかったです。これで修学旅行は終わってしまったけど、まだまだいろいろな行事があるので、そこでまたみんなと仲を深めていきたいです。

5年　帷子川学習

７月１７日（月）に、帷子川学習を行いました。帷子川には絶滅危惧種も生息します。様々な種類の生物を見つけることができ、子どもたちは夢中になって活動していました。学校に帰ってきてからは、捕まえた生物をじっくりと観察し、特徴の違いなどを学習しました。

帷子川の学習では、いろいろな魚などを取ることができて、とても楽しかったです。自然の大切さや帷子川にいろいろな生き物がいることがわかりました。友達や家の人と一緒に川へ行って、自然を大切にしていきたいです。

魚をとっているときに、色々なゴミが落ちていました。絶滅危惧種を救うために、川にごみを捨てないようにして、もっとよりよく住める川にしたいです。そしたら、自然も豊かになると思います。